

会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和6年12月19日(木) 午後3時から午後4時40分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、橋村 則史、本館 弘貴、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、鮫嶋 紀子、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子、廣林 達哉	
欠席者(委員)氏名	佐藤 智栄	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 玉造副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、樫出主任、矢野主任、石川技師	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) いただいた意見と補足する情報について (2) 近隣校をふまえた検討について (3) 児童への意見聴取について (4) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 8名
会議資料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和7年2月5日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u></p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
	<p>議題</p> <p>(1) いただいた意見と補足する情報について</p>
事務局	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
A 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>複式学級のところなのですが、2学年で18人の場合、複式学級ではなく先生が2名配置されて、2学年で16人と2人減っただけで、2クラスを1人の先生が見るというのは、すごく理に合わないと感じるのですが、これは何で決まっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>教員の配置の基準につきましては、埼玉県教育委員会が定める市町村立小中学校学級編制基準というものがございますので、こちらで教員の配置人数は決めさせていただいております。</p>
A 委員	<p>埼玉県市町村立小中学校学級編制基準ですね。ありがとうございます。</p>
会長	<p>他に何かございますか。ないようであれば、続きまして、近隣校をふまえた検討について説明をお願いします。</p>
	<p>(2) 近隣校をふまえた検討について</p>
事務局	<p>[事務局より会議資料に基づき説明]</p>
会長	<p>近隣校をふまえた検討について、現段階でのイメージをご説明いただき、色々あるかと思いますが、方向性等、ただ今の内容で何か質問、意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
B 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>このシミュレーションでは平方北小の子を何人ずつ近隣校にというのがありますよね。今の人数でシミュレーションしていただいているものですよ。</p>
事務局	<p>そうですね。現段階でのイメージですので、まずは平方全体としての考え方として、こういう考え方があるのではないかとということで、継続するためにやりましたので、今の児童数をベースに作っております。</p>

B 委員	<p>何年か経ったときを想定した場合は、こういうふうにならない大きな変化もあり得るということですね。</p>
事務局	<p>はい。おっしゃる通りです。今わかるのが、未就学児の児童の分布までなので、もし本格的にそういった5年先どうなるかというところを検討するのであれば、シミュレーションを未就学児に置き換えるなど、いくつか考え方を作らなければならないと思います。</p> <p>現時点で、今一番わかりやすいものとしては、現在の児童で考えるというものかと思いましたが、こういった平方全体を考えるということでの検討の仕方の方向性というものを考えてみましたので皆様に共有させていただいたところでございます。</p>
B 委員	<p>平方北小の生徒さんを近隣校にというシミュレーションをされていますけど、適正規模を考える場合に何年か後にもっと児童数が減ってくれば、さらに、どこかの小学校もあわせてやらなければいけないという事態もありますか。</p>
事務局	<p>その可能性もあります。</p> <p>そうなると言いが難しいのですけれども、前に B さんがおっしゃっていたように、エリアとしてどういう形の学校を作っていくのかというのが重要になってくるのかと思います。</p>
B 委員	<p>いろいろなシミュレーションしてみるのは必要なことだと思うのですが、子どもたちのことですので、やはり実際にやってみて駄目だったから、次にもう1回やりましょうという話にはならないと思います。なので、もうちょっと何か先を見据えたやり方というのが何かないのかなと。</p> <p>いろいろなことをやるときにこれが駄目だったら、駄目だったら駄目だったでいいじゃないかというように取り組むというのは、子どもたちのことなので、極力避けなければいけないと思います。</p> <p>そうであれば、今回のシミュレーションはわかりますが、もっと先を見据えて本当に学校配置をどのようにしなければいけないか、それを目指していくとすると、1年ごとにどのようになるかという見方をしていた方が良くはないか。</p> <p>この説明を聞いていてちょっとずれるのかもしれないですけど感じました。</p>
事務局	<p>今回のシミュレーションにつきましては、その先を考えていく上で何も取っ掛かりがないと難しいだろうというところもありまして、このような形で機械的に近い状態でシミュレーションさせていただきました。ですので、今後、この協議や考えを作っていく中で、みなさまから条件などをいただいて、それをもとに新しくシミュレーションなどをお示しできるといいのかなと思っています。</p>
A 委員	<p>今のご説明を伺っていて、いろいろ考えていただいているのだなということがわかったんですけども、再編した方がいいという共通の認識はここで生まれていたでしょうか。</p> <p>現状維持という考えはない状態でお話が進んでいるのかなと感じま</p>

事務局	<p>す。いろいろご説明を伺って、学校規模が適正ではないっていうこともよくわかりましたし、その小規模校の弊害も理解ができました。小規模について良い点とそうでない点というのが相互に出たと思うのですが、再編をすることに踏み出した方がいいという合意はありましたでしょうか。という基本的な質問です。</p> <p>再編をするという全体の合意は協議会の中で取られていないかと思いますが、適正規模校にしていくという考え方については、ご理解はいただいていると思っております。前回の会議で、平方北小から他の学校に行っても児童数がそんなに多くならないなどのお話があり、実際の数字などが分からないと考えるための材料が足りないのではと思い、再編に向けた考え方の一つとしてのシミュレーションを周知させていただいていただいたところです。</p> <p>今回、このような検討材料を事務局が作成して、皆様にどの方向がいいのか、再編する方向であったりとか適正規模にする形についてのご意見をいただけるとありがたいのかなと思っております。</p>
C 委員	<p>今の件と近いのですが、適正規模を中心に考えるのであれば、この表では大石南小が入っていますが、大石小学校も中に入れなければ、不十分になると思います。</p> <p>例えば、非常に近いので大石小学校から大石南小への移動も視野に入れればできると思います。</p> <p>あと、西小もそうだし、大石北小もそうなんですね。十分通学可能な距離だと思うので、平方だけを考えるのではなくて、平方と大石と一緒に考えての方がスムーズに流れるような気がします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>考え方としては理解はできますが、通学の距離など物理的なものがかなり大切になってくるかと思えます。また、今は平方北小学校からの子をどうしようかという考えがありますので、まずは平方北小学校をメインに考える必要があるのかなと思っております。</p> <p>ですので、他の学校についての考えを膨らませるのは、今の段階では少し難しいのかなと思っております。</p>
D 委員	<p>すみません。ちょっと気になったのでわかれば教えていただきたいのですが、「第3回平方北小学校再編検討協議会資料」35ページ、平方北小の児童を編入する場合のシミュレーションでその通学距離を測ったところ1.5キロ以上となりそうなのが1名となっておりますが、例えば大石南小や平方小などもっと校区広い学校だと思えますが、通学距離が1.5キロ以上の児童は何人ぐらいいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在の通われている児童において正確な人数はわかりませんが、通われている児童もおります。</p> <p>大石南小学校、平方小以外でも、大石小学校などは、1.5キロを超えている児童もおります。</p> <p>事務局で把握している中で、一番通学距離が長い児童は、大石小学校に藤波の地区から登校している児童であることは、過去の情報より把握しているところでございます。</p>

<p>会長</p>	<p>その他、何かございますか。ではこちらから E 委員はいかがですか。</p>
<p>E 委員</p>	<p>この 2 つの検討案を見比べて、ぱっと見た印象としては、平方北小から分散するという形の方がいいのかなという気はします。適正規模が平方北小に他校から来てもらおうと、結局どこも小規模校ばかりになってしまう。平方東小にいたっては適正規模だったのが小規模に減ってしまうくらいです。それよりは、シンプルに見る限りでは、平方北小から分けた方が、他の学校も小規模が適正規模になる学校や適正規模を維持できる学校もあるので、その点で考えるとこちらの方がいいのかなという印象があります。</p> <p>あとは、通学路が遠くなる子がいることについては、今後の子どもたちもどんどん減っていくのに、現状の子どもたちの分布でしか測ってないので、判断材料にならない気がします。</p> <p>いろいろと改善していくべき問題があると思うので、通学の遠いとか通いにくいなどの問題は、今はあまり検討材料としては必要ないという印象を私としては持ちました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。続いて F 委員はいかがですか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>さきほど C 委員が大石小も検討対象にするというお話されていましたが、そこまで範囲を大きくするとすると、通学路の編成を全部で考えないといけないかと思います。</p> <p>検討案の近隣校から平方北小に転入させる案で、大石南小とか平方小からは転入させないとなっていましたが大石小から大石南小に通える子も 1.5 キロ圏内にいると思います。大石小から大石南小に移って大石南小が増えれば、大石南小から平方北小に移れる子がいると思います。</p> <p>以前ニュースレターをいただいて、その中で市では学校規模 12 から 18 学級と決めましたとありましたが、12 から 18 学級が適正と決めたら、大石小などの適正規模を上回る 5 クラスぐらいある学校などは議題にあがらないのでしょうか。</p> <p>大石地区に人がたくさん固まっているので、そういった話が難しいことはわかりますが、大石地区のクラス数が多い学校を 3 クラスなどの適正規模となるように平方地区にずらしていけば、平方北小も 2, 3 クラスの適正規模になる可能性があるかと思っています。</p> <p>難しい話ではあるかと思いますが、それぐらいしないと通学区の編成はできないのではないかと思います。もっと高崎線西側の小学校で考えてないといけないかと思いました。</p> <p>もし遠くから平方北小に通うとなれば、大人は心配するかと思いますが、1.5 キロより長く歩いている子もいたと言っていたとおり、子供は結構順応性があるので、多分距離はあまり関係ないかと思っています。子供は遠くでも通うし、例えば平方北小がなくなって他の学校に行くとなったら、それは寂しいかと思いますが、子どもは大人が心配するより、通えるかと思っています。仮にそうなるとしても、通学路の安全面だけ考えてあげれば良いかと思っています。通学距離は大人が心配するより子どもは乗り越えられるのではないかと思っています。</p>

<p>会長</p> <p>G 委員</p>	<p>ありがとうございます。G 委員はいかがでしょうか。</p> <p>E 委員と F 委員の意見とすごく同じような意見で、平方北小の生徒がほかに分散するというのが、この図を見る限りだと一番しっくりくるとは思いますが、今後を考えていくと、どこの小学校どこの区域も子どもたち減っていくっていくのを考えないといけないかと思えます。</p> <p>通学路の編成も、上尾市の線路で区切って、西と東とかで分けて編成していくっていうが一番良いのではないかと思います。</p> <p>他の小学校でも家から近い小学校があるけれども、学校の区域が違うため、近くではない小学校へ行っているという子たちもいます。道路で学区を分けていると思いますが、子供のお友達もいる隣の学校に行けたりしないのでしょうかと相談したことがあるのですが、道路を渡るというのが駄目だと言われました。上尾市の小学校の登校班については渡る道を考えて編成もしているということでした。</p> <p>親としては安全に登校できるようにしていただければ、心配なく学校に歩くことができるのではないかと思います。F 委員が言っていたように、私の子供は平方北小まで行くのを遠いとは言ってはいますが、私から見れば距離はそんなにはないのではないかと思います。1 年生でランドセルを背負っていくこと自体が大変なので、距離の数字上の問題ではなく、子供の安全面を大事にいただければというのが私の意見です。</p>
<p>会長</p> <p>H 委員</p>	<p>ありがとうございました。H 委員はいかがでしょうか。</p> <p>この学区の検討についてですが、例えば平方北小に、今泉小から 49 人、平方東小から 61 人転入することが決定した場合に、その 49 人の今泉小の子たちと、平方東小の 61 人の子は強制的に転入になるのでしょうか。</p> <p>各ご家庭で決めて、平方北小か平方東のどちらに通うか選べる形になるのでしょうか。</p> <p>1 軒家などを買う時に、駅までの距離や近隣の小学校、中学校までの距離などが、情報として出ていると思います。それを見て、今泉小に通わせたいから家を買いましたというご家庭もいるかと思えますので、そこが選べる形になるのか、市で決めたらもう強制的になってしまうのかと思いました。</p> <p>やはり、平方北小に通わせたくて住んでいる方とかもいらっしゃると思うのですが、平方北小から近隣の学校に子どもたちが通う方が話は進みやすいのかなと、この 2 種類で選んだ場合には思います。いろんな方たちのお話を聞いて学区を拡大するのはちょっと難しいのかなと思いました。</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。今ご質問があった、学区が変わる際には家庭で選択させるという感じなのでしょうか。それとも、強制的にという感じでしょうか。</p> <p>皆さんの協議が必要になってくると思います。</p> <p>調整区域も実際にはあるので、今のお話を聞いたところ選択制もできるかとは思いますが、ここで選択制にしますとか断定的なことはお話が</p>

	<p>できないです。選択制も方法の一つになりますということはお伝えさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>まだ全然決まっていなくて、もしそうなるようであれば協議をするという感じですね。ありがとうございます。I委員はいかがでしょう。</p>
<p>I委員</p>	<p>先ほども話が出ていますが、近隣の状況を踏まえた検討について、どちらかをやりましょうというのであれば、平方北小の子が移動する方が現実的なのかなと感じました。</p> <p>適正規模化させるとかもし近隣の方を編入させるのであれば、それこそまたこの今泉小学校学区の保護者の方であったり、平方東小学校の保護者の方とかにも説明会を開いて、納得していただくとすると、その納得していただくのは難しいのではないかという話になると思います。そういうところで、関わる人数の多さ的にもこちらの方が良いとは思いましたが、先ほどの皆さんの話を聞く中で、結局この平方北小学校の学区のところを決めたとして、また5年後10年後とかに、他の学区でそういうことをやるのであれば、西側全体で学区を検討していくというのもあるかなと感じました。</p> <p>あとさきほど藤波から大石小に通っている子がという話がありましたが、私が1年生の担任を持っているときに、ほとんど桶川市のところから、大石小学校までは8時に着くためには7時ぐらいに出るみたいな子がいました。</p> <p>1年生の女の子だと4月5月頃は来たくないと言っていたりするのですけれども、成長して6年生とかになって立派に卒業していきましたので、確かに慣れはあるだろうなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。続いてJ委員はいかがでしょう。</p>
<p>J委員</p>	<p>これが2パターン出ているわけですが、これに固執しているわけではなく、単なる例示だと思います。一応情報までに皆様にお伝えしたいのは、通学区域については教育委員会が決めるもので学校は決められません。</p> <p>通学路については学校長の裁量で決めているものであります。</p> <p>この2パターンのみで話をさせていただけると、この2パターンにどちらかになった場合には校長が安心安全に子どもたちを通学させるにはどうしたらいいかというのは、かなり検討しないとイケないなというふうには感じております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。K委員はいかがでしょう。</p>
<p>K委員</p>	<p>平方北小の再編ということで今ご説明いただきましたが、一つ目が平方北小学校の学区拡大、二つ目が近隣校の学区拡大ということで、いろいろな考え方をされていると思いました。また、平方北小の方から平方小に編入ということで、単純に平方小が増えるのであればそれもいいのかなという思いも少しあります。平方小はなかなか増えないところなので、むしろそういうことがあるのであれば、そういう考え方もありかなと思いました。</p>

<p>会長</p> <p>L 委員</p>	<p>ありがとうございました。L 委員いかがでしょうか。</p> <p>今の通学範囲の問題は別として、私は平方北小を残していった方がいいと思います。</p> <p>私は小敷谷東部区からどのぐらい生徒が行っているのかというのが気になっていました。少し愚痴になりますけども、小敷谷東部区はコウモリのような状態なのですね。</p> <p>この問題が最初に持ち上がってきたころ、区長会の方で説明があったのですが、小敷谷東部区が平方北小の説明会には入っていませんでした。大石地区の説明会の時には、平方北小の学区内の方は関係ないと言われました。平方の説明会では小敷谷だから外されて、ちょっと寂しい思いをしています。</p> <p>それと余計な話ですが、小敷谷東部区は防災訓練にも参加できない予定になっています。この前、大石南小学校で防災訓練あったのですが、うちの方からは児童が通ってないので、防災訓練に参加できませんでした。</p> <p>今度、平方北小で訓練をやる時は、多分平方地区だから小敷谷東部が外されるのではないかと。こういうことで、非常に困っている状況が続いています。</p> <p>小敷谷東部区の児童は大石南小には通っておらず、平方北小と平方東小に分かれて通っています。中学校も大石南中と太平中に分かれて通っています。学区については入り組んでおり非常に苦慮しております。</p> <p>そのため、私は平方北小は残すと考えています。</p> <p>小敷谷西部区も平方北小に近いのですが、大石南小に通うことになっています。小敷谷西部区が近いので、そこを編成すれば、平方北小を残しても、まだまだ児童は増えていくのではないかと思います。前、聞いた予定ですと、平方東小と合併していろいろやると言いましたが、平方北小を大きくして、平方東小には防災の基地として、太平中学校の近くにいてもらえればと考えています。ひがみでいうわけではないですが、平方平方で、前回もこちらの方が全然出てこなくて非常に寂しい思いをしました。ちょっと愚痴になりますけども、それでもちょっと生徒さんも通っていると、結構うちの方から行っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>青木副会長か何かご意見ありましたらお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>今回の話し合いですけれども、一番よかったなと思うのは前回のなぜ適正規模なのか、それからどうしてその学級数や学級の中の人数が決まっているかなど、わからないこととか、共通理解できてないこととか結構ありました。</p> <p>だから、今回事務局の方から詳しい資料を出していただいて良かったなと思います。単学級で大変だけど複式になっちゃうともっと大変になっちゃうとか、そういうことが共通理解できたのかなと思います。この共通理解されたことをベースにこの再編の検討をしていくということが重要なんじゃないかなと今回思いました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様からいろいろご意見を伺いました。どうもありがとうございました。いただいた意見は後日、事務局の方にて取りまとめいたします。事</p>

	<p>事務局は取りまとめをお願いいたします。</p> <p>次回の会議ではこうした意見を踏まえながら、また更に協議を進めていけたらと思っております。</p> <p>続きまして、児童への意見聴取について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(3) 児童への意見聴取について</p> <p>〔事務局より会議資料に基づき説明〕</p>
会長	<p>それでは5つほど検討の項目がありますが、まず意見聴取をすることの目的、アンケートの内容にも関わってくるかと思いますので、そのあたり何かご意見ございますでしょうか。</p>
E 委員	<p>〈主な質疑・意見〉</p> <p>2番の聴取の対象について、先ほど出していただいたアンケートの分析はわかりやすかったですが、もうちょっとその対象を広げて欲しいと思いました。今通っている小学生に聞くのはもちろんですが、小学校6年間を経験して卒業した中学生とかにもアンケートの対象を広げられないかなと思います。</p> <p>中学生になると規模も大きい学校に行くし、他の学校の子たちとも実際に会ってみて、自分たちは小規模にいたけれども、複数クラスあるというのは、こういう面があったのだからという良い面も悪い面もそれで気づく子たちがきっと多いと思います。</p> <p>上の子供が今年太平中に1年生で入ったので、平方北小で6年間1クラスを経験してから、太平中で3クラスを経験しています。1クラスの人数も今までの倍まではいかないですけども、30人以上はいます。今までが20人程度、中学校では30人程度です。</p> <p>中学生にもなると自分の意見もきちんと振り返ったりとか、まとめたりもできる年頃だと思うので、できれば中1、中2、中3ぐらいまでも対象にさせていただければと思います。近隣校の太平中、大石南中だけでもいいですし、もうちょっと広げていいと思います。そういう中学生にも同じような内容でもいいので、アンケートを取るのはいかがでしょうかと思いました。</p> <p>実際に上の子供ともそういう話を少しして、平方北小から太平中で規模が大きくなったけどどうか、という話もしますが、やはり中学校はすごく楽しそうです。</p> <p>いろいろな行事ごとについて、全然規模が違くと本当に生き生きとすごく楽しく話をしています。小学校でも楽しい思い出いっぱいだったけれども、もう少し小学校もこういうこともできたのではないかという思いも話してくれるのではないかと考えます。過去に小学生だった中学生にもアンケートを取ってみるのも良いのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。少しご意見いただきたいと思いますが、対象者を広げるという話もありましたし、あと意見聴取は一応行う方向でという話でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>昨今は子どもの意見をしっかり取るというのが行政としてのスタン</p>

	<p>スでございますので、意見聴取は行いたいと考えているところです。 あとはアンケートの実施時期も含めて、いつ誰に実施するのかというところも含めて検討する必要があるかと思うところでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>意見聴取の方法についてアンケートであったり、もしくは何人かの現役の子どもたちから直接お話を伺うということもありだと思いますが、その辺に関して何か内容とかその手法とかの時期とかも何かございましたらご意見いただきたいと思いますが、いかがですか。</p>
<p>I 委員</p>	<p>アンケートの対象の数が少ないので、子どもの気持ちとかでブレてしまうと他のところにもつけてしまうことがあるのかなと思います。アンケートをとる場合に、スライドだったりとか動画などでこのアンケートの趣旨を説明したりだとか、メリット、デメリットとかを話した状態でやった方が良くと思いました。 学校でも、学校に来るのは楽しいですかというようなアンケートを取りますが、月曜日の朝に取ると、つらいことがあるという回答をつけたり、逆に友達とすごい仲良くなったときとかに、〇〇ちゃんと最近仲良しで楽しいとかはあります。そういう時期であるとか、前提条件とかを学校ごとに揃えた方がいいと感じました。</p>
<p>J 委員</p>	<p>この調査を見て、2つ自分は感じましたが、1つは子供というのは現在の自分が置かれている状況が一番中心になって、それで答えているなというところ。もう1つは、43番目のスライドを見ていただくとわかるのですが、例えば平方北小は1人答えるとそれが2.6%なり、平方東小は1人だと0.4%ということで、うちは人数が少ないので1人の%がすごくウエイトが占めていることがわかると思うのです。 したがって、調査結果は、慎重に分析していただけるとありがたいなとは思っております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>母数の数値が少ないとちょっとでパーセンテージがすごい変わりますよね。その辺は事務局の方で お願いしたいと思います。 その他何かございますか。D委員はいかがですか。</p>
<p>D 委員</p>	<p>はい。意見聴取の設問のところは基本的にその選択式で答えることになっていると思いますが、対象は小学校1年生から6年生、中学生まで広げるにしても、理由を選んでくださいまでの回答だと小学1年生がどの程度理解して回答できるかはよくわからないと思います。選択式にするにしても、小学1年生が「いろんな人の意見を聞くことができるから」というような難しい選択肢を選ぶのかと思うので、設問の内容についてはよく考えて作らないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。F委員はいかがですか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>聴取の目的のところですけど、平方北小がなくなる前提の話し合いではないとのことですが、ちょっとなくなる前提になってしまうのですが、もし平方北小がなくなることに決まったとして、在籍している子どもからすると、とても悲しいことで、大きい出来事だと思います。</p>

そのため、子どもも大人が決めたことで平方北小がなくなりますということではなくて、ちゃんと子どもたちにも意見を聞いて、その上で平方北小が廃校になりますということも考えられると思います。

同じ学校の友達と分かれることになる時に、子どもたちも意見を言えてそうなるのと、何も言えないで分かれるのでは、心のダメージや捉え方は違うのかなと思います。それを目的にしていなくて、大人が勝手に決めて平方北小がなくなったということと、自分たちもちゃんと意見を言えて、それでもなくなったのでは過程が全然違うのかなと思います。

北小がなくなる結論に達するときまでの過程は大事で、アンケートを取る目的はそこなのかなと思いました。もちろんなくならないかもしれないですけど、なくなるという方向になったときの子どもの考え方とか受け捉え方は、子どもにちゃんと話を聞いてあげればまた違うのではないかなと思いました。

会長

ありがとうございます。G 委員いかがですか。

G 委員

ちょっとまた話がずれてしまうかもしれませんが、家の中で子供と一緒に小学校の先生の話とかしていると、今 1 年生なので学校は楽しいけれども、他の周りの小学校には同じ保育園だったお友達がいるので、そっちに一緒に行きたかったっていう思いもあるみたいです。

対象となる子供について、低学年であったり、高学年とかでも、アンケートの内容を変えるとしても、言葉遣いとか、記述式を選択式になどかだと思います。

多分子どもに同じようになくなる前提とかで聞いたらきっと喜んで違う小学校に行くというと思います。みんなで一緒に行けるんだったらそっちの小学校がいいっていうふうに子どもは言っていました。

子供としては場所をどうっていうよりも、お友達と一緒に移動するのであれば別に平方東小でもどこでも変わらないっていう認識でいると思います。

前提が友達と一緒に。お友達が増えるっていうところの認識でしかなかったので、子供に聞く場合、設問の仕方とかがちょっと難しくなってくるかだと思います。

会長

ありがとうございます。B 委員いかがですか。

B 委員

皆様のご意見を聞いていて、子どもたちにいろいろ聞く場合に子どもたちによりイメージが出てくる聞き方をしなければと思いました。友達と一緒に行けるであるとか、低学年の子だと具体的なイメージがわくような話をしたうえで質問をしていかなければいけないし、そういうことのために聞いているのですよということを伝えるのが必要なのかと思います。

突然、クラスの人数が多い方が良いか、少ない方が良いか聞いたとしても、友達多い方がいいという話になると思います。例えば平方北小学校の人数が少ないので、適正規模の学校にするために他の小学校に行くことになるのはどうですかとか。

子どもたちに何のために聞かれていて、自分が答えることによってどういうことが起きるのがわかるような内容にしてあげた方が良い

C 委員	<p>のではないかと思います。年齢層の低いところになると、アンケートで丸つけてもらうというより、子供たちの話をちゃんと聞いてあげるといようにした方が良いと思います。</p> <p>私の孫は大石小学校の近くの小泉に住んでいたのです。風評ではないのですが、大石小学校の人数が多くて大変だよって話を聞いて、仲いい友達と話し合っ、今泉小学校のすぐそばのところに家を買って引っ越しました。今でも今泉小に通っているのですけれども、幼稚園のときから母親とどうするって話を何回もしました。</p> <p>仲いい子がいるから移動するとかっていうのもあるだろうし、逆に離れたいからというのもあると思うのですね。</p> <p>私の娘は今泉小の近くに住んでいたこと、地域の小学校に行くこと、担任が仲良かったのですが、今でも今泉小で仲良くやっています。</p> <p>だから、一概には言えないと思います。子どもにどうするのだから言われてもわからないと思います。</p> <p>最終的には親が決めるしかないかもしれない。</p>
E 委員	<p>調査の対象として今回例として挙げていただいたアンケートの対象は小学生5、6年生だけで、低学年ではとっていないのですよね。</p> <p>今後とる予定も、そもそもどの学年からとるかっていう話はまだはっきりしないのか、とるとしたら5、6年なのでしょうか。</p>
事務局	<p>あとは皆様のご意見も踏まえて作成していくことになると思うのですが、当時の話をさせていただきますと、学校の先生や、教育委員会の先生方にも話を聞いて、ある程度このような内容について経験を経て答えられるのがどれくらいかなというところで、5、6年生が良いところなんじゃないかというので、とらせていただいたところです。</p> <p>あとはその前、更新計画の基本計画を作る際にもアンケートをとっていますが、その際は、大人の方と一緒に小さい子については、意見を子どもに聞きながらやってくださいねというアンケートはとらせていただきました。</p> <p>そういったやり方でそれぞれ意見を聞いてきたという経緯をもっているところです。今日はいろいろとご意見がありましたから、対象をどうするかというのは結構重要なのかなと思っているところです。</p>
会長	<p>ちなみにE委員はどのくらいを対象にしたらよろしいと思いますか。</p>
E 委員	<p>やっぱり5、6年生から中学生も入れてほしいなと思います。他に聞いたら聞くで、もうちょっと内容を変えて、親御さんと一緒に話しながらとか答えるような感じがいいかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ご意見の一つとしていただきます。</p> <p>アンケートや意見聴取をするということについて、目的や趣旨をちゃんと説明して理解できるようにしておくなど、いろいろご意見いただきましたので、この辺りに関しましては、事務局の方で案を取りまとめをよろしく願いいたします。</p> <p>参考にしてまた次のところで提案させていただきたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>(4) その他 これまで出てきたところで今のアンケートの部分でも、全員にご意見いただくことはできなかつたので、フリートークの時間を設けたいと思います。全体的にでもその会議の内容でも構いませんので、何かご意見とかご発言とかいただければと思います。何かございますか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>アンケートのことですけれども、E 委員がおっしゃっていた、中学生も対象にすすめるのはすばらしいなと思いました。あとやはりそういう経験を踏まえた子供たち同士が話し合うとか、そんな場があってもいいじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>あとこれが子どもたちのことだけではなくて小学校というのが、地域にとっての財産だっているという考え方をいたしますと、避難所という役割があったりとか、小学校の役割ってたくさんあると思うんです。</p> <p>その中で私達の丸山団地の子供の数は本当に減っているんですけども、減った原因というのが、子育て支援制度で結構入居していた方がいましたが、ちょうど10年目を迎えて結構退去してしまったというところもあります。何かできることはないかなと考えたときに、やはり子育て支援政策でお子さんが転居しやすい状況を作っていきたいんです。例えばこれで平方北小がないとなると、通学に結構時間がかかるので、やっぱり選ばれない地域というふうになってしまうのは非常に怖いなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。何かご意見ございますか。他にないようであれば、その他、事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。今後の予定でございますが、4回目の協議会は2月27日を予定しております。ご協力のほどよろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>以上で議事を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>閉会</p>
<p>事務局</p>	<p>長嶋会長ありがとうございました。本日、予定していた令和6年度第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>以上をもちまして、令和6年度第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>青木副会長ありがとうございました。第3回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>